

不審電話への対応について

標記の件につきましては、各学校におきましてこれまでも機会あるごとに指導いただいているところではありますが、3月末から4月初旬にかけて、市内の小学校児童宅に学級名簿や連絡網の確認と称して、電話番号を聞き出す事案が4件発生しております。今後も同様の事案の発生が予想されることから、連絡網や学校一斉メール等を利用して児童生徒や保護者への指導、注意喚起についてお願いいたします。

記

【共通している特徴的な内容】

- ・すべてのケースが女性からの電話で、児童宅に架電されている。
 - ・「PTA関係者」や「地域の見守りパトロール隊」等を名乗り、子どもを安心させて電話番号を聞き出そうとする。
 - ・相手は名簿を持っていて、それをもとに記載されている児童の名前と電話番号を確認していく。もし、相手が確認した番号が違っていたら、子どもから正しい番号を聞き出そうとする。
- ※ 児童が電話番号を伝えてしまったケースもあります。

【指導内容】

- ◇春休み中の夕方までの時間帯と保護者不在の状況でかかってくるが多く、まずは、子ども自身が対応できるようにする必要があります。「PTA関係等で他の児童・生徒の家に電話して、名簿の電話番号を聞き出すことはない」ことを押さえてください。その上で、以下のような電話の対応とその後の行動を指導願います。
- どんなことを言われても「学校に聞いてください」あるいは「名簿がないので、わからない」で断るように指導徹底をお願いします。
 - 不審電話がかかってきた後は、すぐに親や学校に連絡する。
 - 子どもから学校に不審電話の連絡があった場合は、子どもの様子を確認し、怖がっている場合は「心配しなくてよい」ことを伝え、様子が心配な場合は家庭訪問等をするなど、子どもの顔を見て安心させるなどの対応も考慮願います。